



## 新しい学校の姿と

### 感染症予防対策の見直し

校長 手代木 英明

分散登校が始まり、学校に元気な子供たちの声が戻ってきました。新学期が始まってからの在宅オンライン学習「神小スマートスクール」に加えて、教室での指導ができるようになったことは大きな前進です。オンラインでできることと教室でできることを吟味して、実施していきます。

保護者の皆様の中にはテレワークをされている方も多いことですが、会社社経営者のインタビュー記事の中に「テレワークで業績を伸ばしている社員がいる。」とありました。主体性と創意工夫がポイントだそうです。また、オンライン会議では、「これまでの会議にあった、ベテラン社員の威厳や存在感が薄れ、フラットな関係で根拠や資料を基にした発言ができる人が認められるようになった。」とされています。学校のオンライン在宅学習も同じです。朝、子供が自分でタブレットを開いて、課題を理解して、学習に必要な教科書やノートをそろえて、自分でできる

ようになったら合格です。このことは、テストや塾で高い点数を取ることを意識する以前に身に付けなければならぬ大切なことなのです。

社会全体がオンラインやテレワーク化されたときに必要な人材に求められる能力は、自己管理能力、主体性、対話力、創意工夫、根拠を基にした表現力です。この春から実施されている新学習指導要領も、これらの能力を重視しています。新型コロナウイルス禍で、突然の教育改革ですが、渋谷区には、児童一人一台の教育用タブレットがありますので、どんな活用して、子供たちの基礎学力とともに「学びに向かう力」を学校と家庭が協力して育てていきましょう。

感染症予防対策は、「本校の全教職員、学校運営に関わる給食調理委託業者、図書委託業者、放課後クラブ運営事業者、警備、交通安全指導員のすべて職員が一丸となって、児童が安全に学校生活を送れるように感染症予防対策を行う。学校が感染元に絶対にならないよう、最大限の感染症予防対策を徹底する。」の基本方針で取り組めます。これまで学校は、インフルエンザや

ノロウイルスに対して、感染症予防対策を実施してきましたが、今回の新型コロナウイルス対策は、学校として初めて、二分の一分分散登校、授業内容や休み時間の制限、給食の配膳や喫食方法の変更、放課後の消毒作業を行います。しかし、学校には三密を解消するスペースがありません。早く新薬やワクチンが開発されて、次のステップに移行することを切望しています。

いろいろ制限がありますが、子供たちが活躍できる新たな行事や授業スタイルができるように年間教育計画を練り直して、実行していきます。六月からは、ティームス(マイクロソフト社)を用いた双方向型のオンライン学習やポプラーディアネット(ポプラー社)を用いた調べ学習を始めます。新しい学び方を子供と一緒に体験してみてください。

ステイホームの小学生にタブレットで防災教育を



渋谷消防署のタブレット防災訓練の画面と在宅学習の様子  
5/14(木) TBS 「Nスタ」で取り上げられました。

## 六月の生活指導

健康と安全に気を付けよう

分散登校が始まります！  
校長の文面にもありましたように、六月一日からは、様々な制限や新しい学び方をする学校生活となります。

新しい教室、新しい先生や友達と学べる毎日が、制約のある日々の中にあっても、安全で安心できる環境であるように、教職員一同努めてまいります。併せて、学校の休業期間中に各ご家庭で多大なご協力をいただきました保護者の皆様にも、以下の三点について引き続き、子供たち一人一人に声掛けをお願いいたします

- 一、「早寝早起き朝ごはん」で生活リズムを整える。
- 二、あらかじめ通学路を歩き、登下校の安全を確認する。
- 三、睡眠・食事・休息を十分にとり、無理なく登校できるようにする。

神宮前小学校でのスタートが、神小スマートスクールと並行し、より充実した学び舎となりますよう、よろしくお願いたします

(生活指導部)